



## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月31日

上場会社名 株式会社 カナデン

上場取引所 東

コード番号 8081 URL <https://www.kanaden.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本橋 伸幸

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 黒田 暢彦

TEL 03-6747-8805

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	80,363	14.3	2,598	22.2	2,905	22.0	1,944	22.0
2023年3月期第3四半期	70,317	3.1	2,127	72.5	2,381	73.8	1,593	97.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,512百万円 (32.2%) 2023年3月期第3四半期 1,900百万円 (131.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	82.93	
2023年3月期第3四半期	60.14	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	73,943	45,837	62.0	1,954.31
2023年3月期	83,294	44,379	53.3	1,893.95

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 45,837百万円 2023年3月期 44,379百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		17.00		22.00	39.00
2024年3月期		24.00			
2024年3月期(予想)				24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	8.1	4,600	15.9	4,800	13.1	3,200	10.5	136.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	23,600,000 株	2023年3月期	23,600,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	145,548 株	2023年3月期	168,009 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	23,443,202 株	2023年3月期3Q	26,501,393 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報に基づいております。なお、上記の予想の前提条件その他の関連する事項については、貼付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(企業結合等関係) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、雇用・所得環境の改善や、堅調な企業収益を背景にデジタル化・脱炭素化をはじめとした設備投資が回復基調を継続し、内需を中心に堅調に推移しております。一方、地政学リスクや中国経済の動向、欧米の金融政策の影響等による海外経済の減速が懸念され、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況下、当社グループは、5カ年中期経営計画『Electronics Solutions・Company 2025 (ES・C2025)』の3年目として、技術力・企画力を高め、グループ内外との連携強化を図り、オリジナルソリューションの提供を通じ、高付加価値ビジネスを追求するとともに、社会の変化に即応し、SDGsへの取り組みを通じて、社会課題の解決に貢献し持続的な成長を実現する「エレクトロニクスソリューションズ・カンパニー」となることを目指し取り組んでおります。

これらの取り組みにより、製造業の設備投資需要が堅調に推移していることと部材不足の改善もあり、FAシステム事業が順調に推移しました。情通・デバイス事業では、情報通信分野の電子医療装置案件が増加し、売上・利益に貢献しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高につきましては、80,363百万円（前期比10,045百万円増）となりました。経常利益につきましては、為替の影響もあり2,905百万円（前期比523百万円増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、1,944百万円（前期比350百万円増）となりました。

## セグメント別の営業の概況

(単位：百万円)

		前第3四半期連結 累計期間	当第3四半期連結 累計期間	増減額
FAシステム事業	売上高	29,642	32,825	3,183
	経常利益	1,454	1,855	401
ビル設備事業	売上高	7,171	9,171	1,999
	経常利益	△288	△62	225
インフラ事業	売上高	11,599	14,116	2,516
	経常利益	△251	△230	20
情通・デバイス事業	売上高	21,904	24,249	2,345
	経常利益	1,272	1,246	△25

## ①FAシステム事業

FA分野は、半導体供給不足による納期長期化の影響が改善傾向であり、製造業の設備投資も回復基調を継続したことからコントローラシステムや駆動制御機器を中心に順調に推移しました。

産業メカトロニクス分野は、レーザ加工機の案件が減少しました。

産業システム分野は、工場設備の更新需要により計測機器等が堅調に推移しました。

その結果、当該事業としては3,183百万円の増収となり、経常利益は401百万円の増益となりました。

## ②ビル設備事業

設備機器分野は、情報通信事業者向け受変電設備案件が増加し、堅調に推移しました。

空調・冷熱機器分野は、店舗向け設備投資の回復により空調機器、低温機器が順調に推移し、住設機器も堅調に推移しました。

その結果、当該事業としては1,999百万円の増収となり、経常利益は225百万円の増益となりました。

③インフラ事業

交通分野は、無線通信機器は減少しましたが、車両の改造案件により車両用機器が増加しました。

社会システム分野は、官公庁案件が前年並みで推移しました。

その結果、当該事業としては2,516百万円の増収となり、経常利益は20百万円の増益となりました。

④情通・デバイス事業

情報通信分野は、金融機関向け画像・映像機器が順調に推移し、電子医療装置の案件も増加し好調に推移しました。

半導体・デバイス分野は、産業機器関連顧客からの産業用パワーデバイスが在庫調整の影響を受けながらも堅調に推移し、電子デバイス品は家庭用電気機器向けが堅調に推移しました。一方で、データセンター向けHDD用ICは需要減少により苦戦しました。

その結果、当該事業としては2,345百万円の増収となりましたが、経常利益は25百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、73,943百万円（前期末比9,351百万円減）となりました。

流動資産は、57,475百万円（前期末比11,339百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、商品及び製品が772百万円増加、電子記録債権が158百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が9,067百万円減少、現金及び預金が2,163百万円減少、未収入金が1,227百万円減少したことが主要な要因であります。

固定資産は、16,467百万円（前期末比1,988百万円増）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、有形固定資産が123百万円減少した一方で、G C J G 19株式会社（現：株式会社 J C E ホールディングス）の全株式を取得し連結子会社化したことにより、のれんが1,673百万円増加したことが主要な要因であります。

一方、流動負債は、26,393百万円（前期末比11,392百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、前受金が1,755百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が11,368百万円減少、未払法人税等が988百万円減少、賞与引当金が566百万円減少、電子記録債務が447百万円減少したことが主要な要因であります。

固定負債は、1,712百万円（前期末比583百万円増）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、G C J G 19株式会社（現：株式会社 J C E ホールディングス）及び同社の子会社1社を連結の範囲に含めたことにより、長期借入金が576百万円増加したことが主要な要因であります。

純資産は、45,837百万円（前期末比1,458百万円増）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,944百万円計上、配当金の支払が1,078百万円あったこと等により、利益剰余金が863百万円増加、為替換算調整勘定が314百万円増加、その他有価証券評価差額金が294百万円増加したことが主要な要因であります。

その結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は62.0%、1株当たり純資産額は1,954円31銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績については、現時点では2023年10月18日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,339	13,175
受取手形、売掛金及び契約資産	32,075	23,007
電子記録債権	7,174	7,333
商品及び製品	11,370	12,142
原材料及び貯蔵品	1	1
その他	2,859	1,818
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	68,815	57,475
固定資産		
有形固定資産	8,541	8,417
無形固定資産		
のれん	-	1,673
その他	1,281	1,442
無形固定資産合計	1,281	3,116
投資その他の資産		
投資有価証券	3,883	4,324
その他	809	673
貸倒引当金	△37	△63
投資その他の資産合計	4,655	4,933
固定資産合計	14,479	16,467
資産合計	83,294	73,943

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,363	15,995
電子記録債務	5,081	4,633
1年内返済予定の長期借入金	-	196
未払法人税等	1,067	79
引当金	1,340	735
その他	2,932	4,753
流動負債合計	37,785	26,393
固定負債		
長期借入金	-	576
退職給付に係る負債	859	858
その他	270	278
固定負債合計	1,129	1,712
負債合計	38,915	28,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,576	5,576
資本剰余金	5,343	5,343
利益剰余金	31,313	32,177
自己株式	△193	△167
株主資本合計	42,039	42,929
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,139	1,433
土地再評価差額金	378	378
為替換算調整勘定	410	724
退職給付に係る調整累計額	410	370
その他の包括利益累計額合計	2,339	2,908
非支配株主持分	-	-
純資産合計	44,379	45,837
負債純資産合計	83,294	73,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	70,317	80,363
売上原価	59,227	68,590
売上総利益	11,090	11,772
販売費及び一般管理費	8,962	9,173
営業利益	2,127	2,598
営業外収益		
受取利息	13	45
受取配当金	79	63
仕入割引	15	10
為替差益	116	124
その他	53	78
営業外収益合計	277	322
営業外費用		
支払利息	8	9
その他	15	6
営業外費用合計	23	16
経常利益	2,381	2,905
特別利益		
投資有価証券売却益	110	66
特別利益合計	110	66
特別損失		
関係会社株式評価損	50	-
関係会社株式売却損	26	-
投資有価証券売却損	13	-
固定資産除却損	0	4
その他	-	2
特別損失合計	90	6
税金等調整前四半期純利益	2,401	2,965
法人税、住民税及び事業税	710	853
法人税等調整額	97	167
法人税等合計	807	1,021
四半期純利益	1,593	1,944
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,593	1,944



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,593	1,944
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112	294
為替換算調整勘定	485	314
退職給付に係る調整額	△66	△40
その他の包括利益合計	306	568
四半期包括利益	1,900	2,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,900	2,512
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第3四半期連結会計期間において、G C J G 19株式会社(現:株式会社J C Eホールディングス)の株式を取得したことにより、同社及び同社の子会社1社を連結の範囲に含めております。

なお、これら2社については、2023年12月31日をみなし取得日としているため、貸借対照表のみ連結しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	FAシステム事業	ビル設備事業	インフラ事業	情通・デバイス事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	29,642	7,171	11,599	21,904	70,317
セグメント間の内部売上高又は振替高	101	45	21	82	251
計	29,743	7,217	11,620	21,986	70,568
セグメント利益又は損失(△)	1,454	△288	△251	1,272	2,188

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,188
全社費用(注)	193
四半期連結損益計算書の経常利益	2,381

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				
	FAシステム事業	ビル設備事業	インフラ事業	情通・ デバイス事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	32,825	9,171	14,116	24,249	80,363
セグメント間の内部 売上高又は振替高	115	72	42	50	281
計	32,941	9,243	14,158	24,300	80,644
セグメント利益又は損 失(△)	1,855	△62	△230	1,246	2,809

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,809
全社費用(注)	96
四半期連結損益計算書の経常利益	2,905

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「FAシステム事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間にG C J G 19株式会社（現：株式会社J C Eホールディングス）の株式を取得したことに伴い、のれんを1,673百万円計上しております。なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

## (企業結合等関係)

## 取得による企業結合

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：G C J G 19株式会社並びにその子会社である株式会社日本制御エンジニアリング  
事業の内容：電子系制御システムを中心とした制御システムの開発

## (2) 企業結合を行った主な理由

当社は、国内市場規模が5.8兆円といわれるI o T市場が2027年には8.7兆円（年平均8.5%成長）にまで拡大するとの予測のもと、お客様の生産現場における品質、生産性の向上を図るソリューションをさらに発展・拡大させて行くため、このたび、株式会社日本制御エンジニアリングの持株会社であるG C J G 19株式会社の発行済全株式を取得し、カナデングループに迎え入れることといたしました。

株式会社日本制御エンジニアリングは、社会インフラを支える電力系統制御技術に強みをもっており、その規模の大きい電力系統制御システムの難易度は高く、システム構築に耐えうる技術、知識、経験を有しております。これにより当社と同社が有する高度な技術と経験を融合させ、国内、さらには海外のI o T需要に応えてまいります。

現在、当社が擁する制御・I o T関連の技術者は約30名ですが、同社が擁する技術者約70名を加え、カナデングループとして技術者100名体制とし、お客様の生産現場の未来に向けて製造業のスマート化に貢献することで、カナデングループの企業価値向上に繋げてまいります。

## (3) 企業結合日

2023年12月26日(株式取得日)

2023年12月31日(みなし取得日)

## (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

## (5) 結合後企業の名称

G C J G 19株式会社は、株式会社J C Eホールディングスに社名変更しております。

## (6) 取得した議決権比率

100%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したためであります。

## 2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2023年12月31日をみなし取得日としているため、当第3四半期連結会計期間では貸借対照表のみを連結しており、当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間はありません。

## 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,300百万円
取得原価		1,300百万円

## 4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー等に対する報酬・手数料等 105百万円

## 5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## (1) 発生したのれんの金額 1,673百万円

なお、のれんは取得原価の配分が終了していないため、暫定的に算出された金額であります。

## (2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

## (3) 償却方法及び償却期間

当第3四半期連結会計期間末において、企業結合日における識別可能資産および負債の特定及び時価の見積りが未了であるため、取得原価の配分は完了しておりません。よって、のれんは暫定的な会計処理を行っており、償却方法および償却期間についても精査中であります。